一般社団法人日本医療薬学会

2023年度第3回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2023年8月10日（木） 13時 ～ 15時30分

二．開催場所： ハイブリッド開催（事務局会議室＋Zoomを利用したウェブ会議）

三．出席者

会 頭： 山本 康次郎

監 事： 奥田 真弘

以下の出席者は、Zoomを利用したウェブシステムにより参加した。

副会頭： 石井 伊都子、寺田 智祐、百瀬 泰行

理 事： 池田 龍二、伊藤 清美、齋藤 秀之、佐藤 淳子、佐野 俊治、関根 祐子、田﨑 嘉一、富岡 佳久、豊見 敦、中村 敏明、花輪 剛久、濱浦 健司、宮﨑 長一郎、村木 優一、矢野 育子

監 事： 望月 眞弓

顧 問： 武田 泰生、山本 信夫、和田 一夫

年会長： 三浦 昌朋（第33回年会）

陪席者

事務局： 星 隆弘、姫嶋 直子、田中 結寿、阿部 薫

欠席者

理 事： 石澤 啓介

監 事： 安原 眞人

顧 問： 五十嵐 邦彦

年会長： 本間 真人（第34回年会）

四．議長： 山本 康次郎

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 19 名の出席があり、定款第38条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1．2023年度第2回定例理事会議事録の確認

議長より、2023年6月6日に開催された2023年度第2回定例理事会議事録について、役員に事前送付を行ったうえ確認を依頼している旨が説明され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。

2．協議事項

(1) 2024 年度事業計画（案）

富岡理事より、2024 年度事業計画案が説明された。協議した結果、新しく発足する委員会の活動計画等を盛り込んだうえで次回の理事会で最終的な確認をすることとなった。

(2) 2024 年度予算（案）

事務局より、2024 年度予算案が説明された。専門薬剤師制度支援システムの構築や事務局増床に伴う改装費用等により一時的な赤字を見込んでいることが説明された。また、望月監事より国際交流委員会の海外研修助成については円安の影響を大きく受けるのではないかとの意見があり、矢野理事より次回の国際交流委員会で検討する旨回答が成された。予算案については次回の理事会で最終的な確認をすることとなった。

(3) 第 15 回臨時社員総会、2023 年度学会賞表彰式の開催日時の確認

事務局より、第 15 回臨時社員総会及び 2023 年度学会賞表彰式の開催日程、会場に係る確認があった。協議した結果、予定通りに第 33 回年会の 2 日目に開催することが了承された。

(4) 第 16 回定時社員総会の開催計画

事務局より、第 16 回定時社員総会の開催計画に係る説明があった。協議した結果、2024 年 3 月 24 日（日）に都内の貸会議室にて社員総会及び総会終了後に新役員による臨時理事会を開催することが了承された。

(5) 利益相反マネジメントに係る申告書の改訂

事務局より昨年度徴求した利益相反自己申告書について、記載に手間がかかる、家族情報等必要以上の情報は記載したくない等の意見があったことから、申告書の改訂を検討したことが説明された。協議した結果、申告書の改訂が了承された。

(6) 日本薬学会第 144 年会における共催企画の実施案

池田理事より、日本薬学会第 144 年会とのジョイントシンポジウム企画に関する説明があった。今後は、がん専門薬剤師、がん指導薬剤師だけでなく、地域薬学ケア専門薬剤師（がん）も対象にしても良いのではないかとの意見があった。協議した結果、当該実施案について了承された。

(7) 2024-2025 年度役員候補者選挙管理委員会の編成、選挙公示案の確認

富岡理事より、2024-2025 年度役員候補者選挙管理委員会の編成案（6 名）及び選挙公示案が説明された。協議した結果、編成案及び選挙公示案が了承された。

(8) 学術大会検討小委員会の編成

議長より、学術大会検討小委員会の編成案（8 名）が説明された。本委員会は年会や FC の今後の開催について長期的な検討を行うことを目的としている。委員会名についても協議が行われ、「検討」を削除して学術大会小委員会とすること及び

編成案が了承された。

（9）専門薬剤師制度検討小委員会の編成

寺田副会頭より、専門薬剤師制度検討小委員会の編成案（9 名）が説明された。委員会名についても協議が行われ、「検討」を削除して専門薬剤師制度小委員会とすること及び編成案が了承された。

（10）出版小委員会の編成

中村理事より、出版小委員会の編成案が説明された。10名での編成を予定しており、提示された8名の他、2名に打診を行っていることが説明された。協議した結果、了承された。

（11）日本薬剤師会からのガイドラインの作成協力依頼

寺田副会頭より、日本薬剤師会からの「5疾患に対する薬局薬剤師のガイドライン（脳卒中）」作成協力及びガイドラインに係る作成委員会編成案（5名）について説明があった。協議した結果、ガイドライン作成協力及び編成案が了承された。

（12）出版図書の印税の支払方法の変更の提案、未払いに係る報告

事務局より、出版図書の印税の支払方法の変更の提案、及び未払いに係る説明があった。協議した結果、了承された。

（13）後援依頼への対応

寺田副会頭より、慶應義塾大学からの後援申請について説明があった。本申請は年 8 回開催されるコース制であり、同形態での後援申請は初めてであることから協議が行われた。協議した結果、今後は年度ごとに後援申請を提出していただく等、範囲を明確にしたうえで後援を認めることとなった。

3．報告事項

（1）理事会メール審議に係る報告（2 件）

事務局より、前回の理事会から昨日までの間に理事会へのメール審議が行われた案件の概要と審議結果が報告された。

・2023 年度地域薬学専門薬剤師研修施設（基幹）の新規認定に係る審議
・2023 年度がん専門薬剤師認定試験の合否判定に係る審議

上記2件については、了承されたことが報告された。

（2）第33回年会（仙台）準備状況報告

三浦年会長より、本年11月に開催される第33回年会についての準備状況が報告された。

（3）第9回がん専門薬剤師全体会議の実施報告

池田理事より、本年5月13日（土）に開催された第9回がん専門薬剤師全体会議の実施概要が報告された。

(4) 第6回フレッシャーズ・カンファランス実施報告

伊藤理事より、本年6月11日（日）に開催された第6回フレッシャーズ・カンファランスの実施概要が報告された。

(5) JPHCS誌のインパクトファクター獲得

村木理事より、JPHCS誌がインパクトファクターを獲得したことが報告された。

(6) 日本薬系学会連合設立総会開催報告

奥田監事より、本年7月3日（月）に開催された日本薬系学会連合設立総会の開催概要が報告された。

(7) 日本学術会議 「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」への応募に係る報告

石井副会頭より、日本学術会議 「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」への応募に係る報告があった。

(8) 日本学術会議公開シンポジウム「薬剤師に期待する地域医療への能動的関与」プログラムに係る報告

奥田監事より、日本学術会議公開シンポジウム「薬剤師に期待する地域医療への能動的関与」のプログラムに係る報告があった。

(9) 薬剤師認定制度認証機構 令和 5 年度定時社員総会

奥田監事より、薬剤師認定制度認証機構 令和 5 年度定時社員総会開催に係る報告があった。

(10) 後援依頼への対応（2 件）

議長より、後援依頼が 2 件あり承認したことが報告された。

・第 17 回日本緩和医療薬学会年会（主催：日本緩和医療薬学会）
・第 27 回アップデート教育コース（主催：日本癌治療学会）

(11) 委員会報告

次の各委員会の開催概要が議事録にて報告された。

・2023 年度第 2 回がん専門薬剤師能力向上小委員会
・2023 年度第 1 回広報出版委員会
・2024 年度予算会議

以上をもって全ての議事の審議及び報告を終了したので、議長は 15 時 30 分に閉会を宣言し、解散した。